

山行報告書

日時	2021年6月20日(日)		天候	晴れ
山名	九千部山展望台(アゼリア塾・セルフレスキュー勉強会)			
CL	NJ川、O崎	参加者	H田さん、Y山さん、N島昌寛さん、Y野さん、T中さん N島幸さん、N島幸さん、M尾さん、S木さん、M原さん、A井さん、T田さん、I手さん、T藤さん、N村さん、M井さん、N尾さん、H屋さん(外部オブザーバー)(総勢20名)	
(コース)	九千部山展望台にてアゼリア塾(セルフレスキュー勉強会)を行いました。救助要請の手順、救命救急など簡易的な医療技術、危険箇所から避難するための技術、ピバークなどの野営技術など、ロープワークを交えながら実践形式で行いました。			
(コメント)	<p>アゼリア塾(セルフレスキュー)に参加させていただき有難うございました。細かな計画と準備をしていただいたNJ川さんを始め担当のスタッフの方々に感謝申し上げます。お陰様で、新しい知識と共に引き出しを増やすことができました。いざという時活かせるよう、ロープワーク等を家で練習したいと思います。車で家の近くまで迎えに来ていただいたり、スリングやカラビナを貸していただいたり、皆様に、感謝、感謝です。次回のアゼリア塾も楽しみにしています。</p> <p>T中</p> <p>講習ではNJ川さんはじめ、たくさんの方に教えていただきありがとうございました。講習を受ける事で「山は危険と隣り合わせである」「事故に遭う事もある」「事故予防が大切である」という事を再認識しました。</p> <p>講習内容は、実際に行う形で、具体的で分かり易かったです。全て理解出来た訳ではありませんが対処法を知ることで不意の出来事にも落ち着いて対処出来るのではないかと思います。手技では、ロープワークを綺麗に仕上げると機能的である事、カラビナのロックは必ず行うなど、基本の大切なことを教えていただきました。</p> <p>また自分自身が怪我や事故に遭うと、同行者にも二次リスクが伴うため、自分の身を守る事が仲間の安全にも繋がる事であると感じました。自分自身の体調、体力、適した装備など、事故管理に留意していきたいと思います。具体的には、山行の前日は飲み過ぎない様にします。</p> <p>令和2年日本国内山岳遭難者数2697人。死者行方不明者278人との事です。</p> <p>自分の為にも、家族の為にも、職場の人の為にも「生きて山から帰りたい」「怪我無く山から帰りたい」アゼリア会員の方と安全で楽しい山行が出来るよう自己研鑽していきたいと思います。これからもご指導よろしく願います。</p> <p>Y山</p> <p>今回はアゼリア塾(セルフレスキュー)に多数参加していただきありがとうございました。企画した私自身も準備段階から当日まで様々な観点から勉強させていただきました。私の知識及び経験不足な部分は経験豊富なM井さんやN尾さん、そして皆様が各々助けて下さいました。簡易医療に関しては看護師であるY山さんが積極的に教えて下さいました。又、クライミングなどではいつも教えていただいている非会員ですがオブザーバーとして参加して頂いたH屋さんにも助けていただきました。セルフレスキュー勉強会は今後も定期的に続けていきたいと思っています。</p> <p>NJ川</p>			



最後に九千部山頂上にて記念撮影



ザック三連結にて救護者を搬送



倍カシステムの構築方法



ムンターヒッチにてロープダウン



ロープワーク講座?



肩がらみで危険地帯からの脱出



ツェルトで救護者の搬送



捻挫した時の応急処置